

公共交通利用状況について

《目 次》

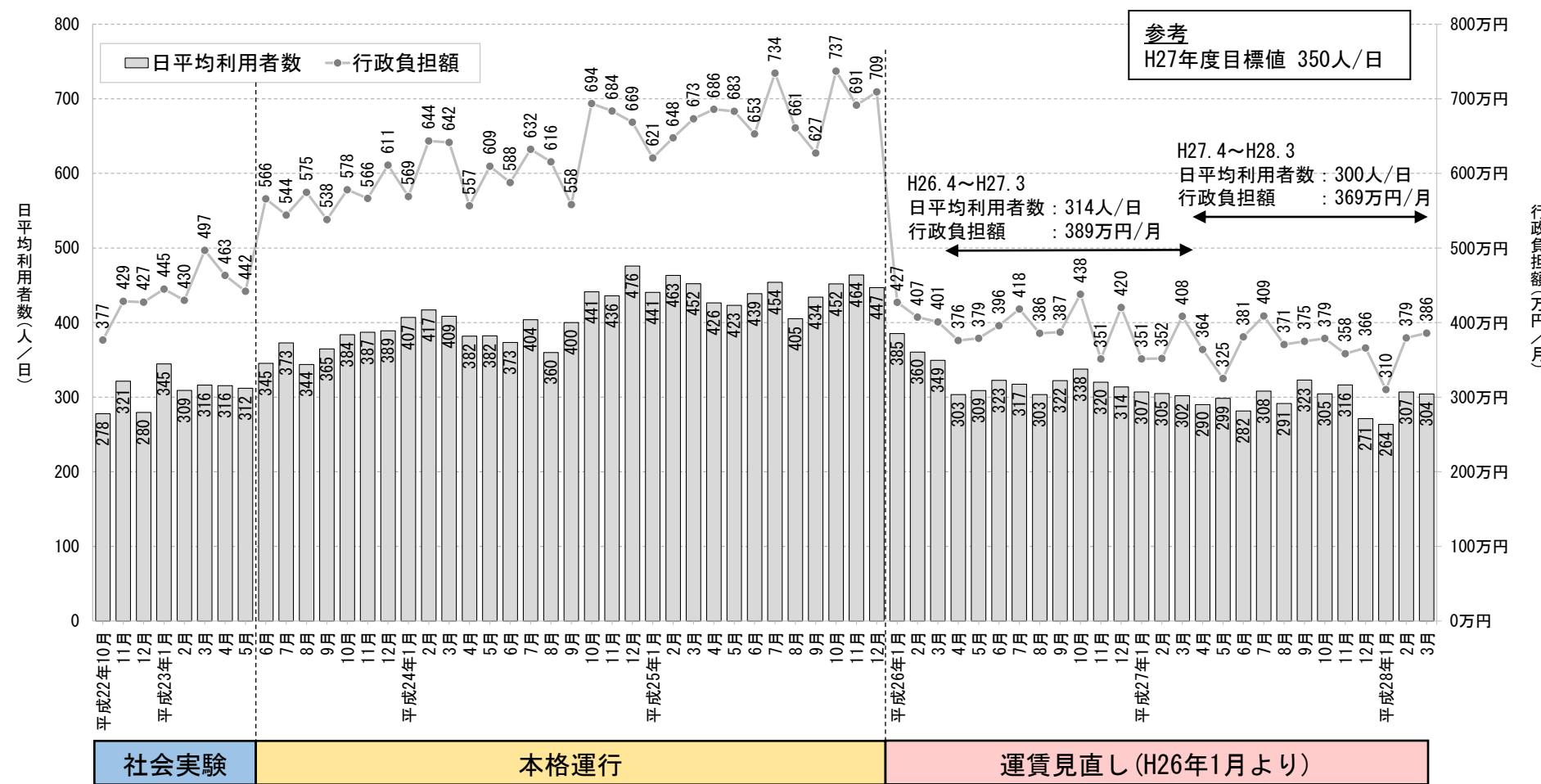
1 デマンド交通ひめさゆり利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P1
2 高校生通学ライナーバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P4
3 井栗地区コミュニティバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P6
4 循環バスぐるっとさん利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P7
5 おでかけパス社会実験 途中経過	・ ・ ・ ・ ・	P8

平成28年5月27日(金)
三条市地域公共交通協議会

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

利用者数と行政負担額の推移

● 利用者数は約300人/日、行政負担額は約370万円/月程度で平成26年度と比較して微減している。

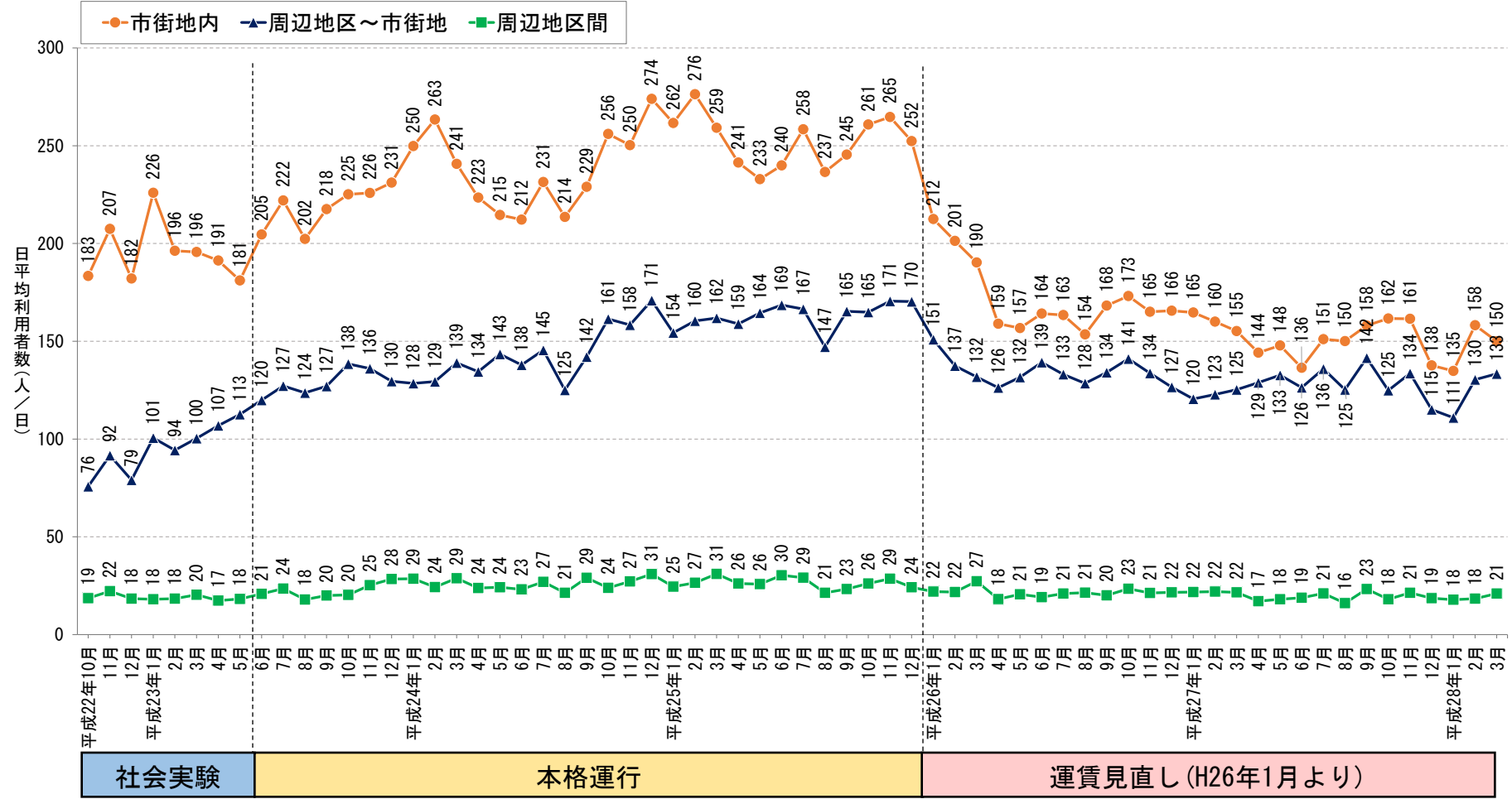


※ひめさゆり日報に基づき集計

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

起点終点別の利用者数

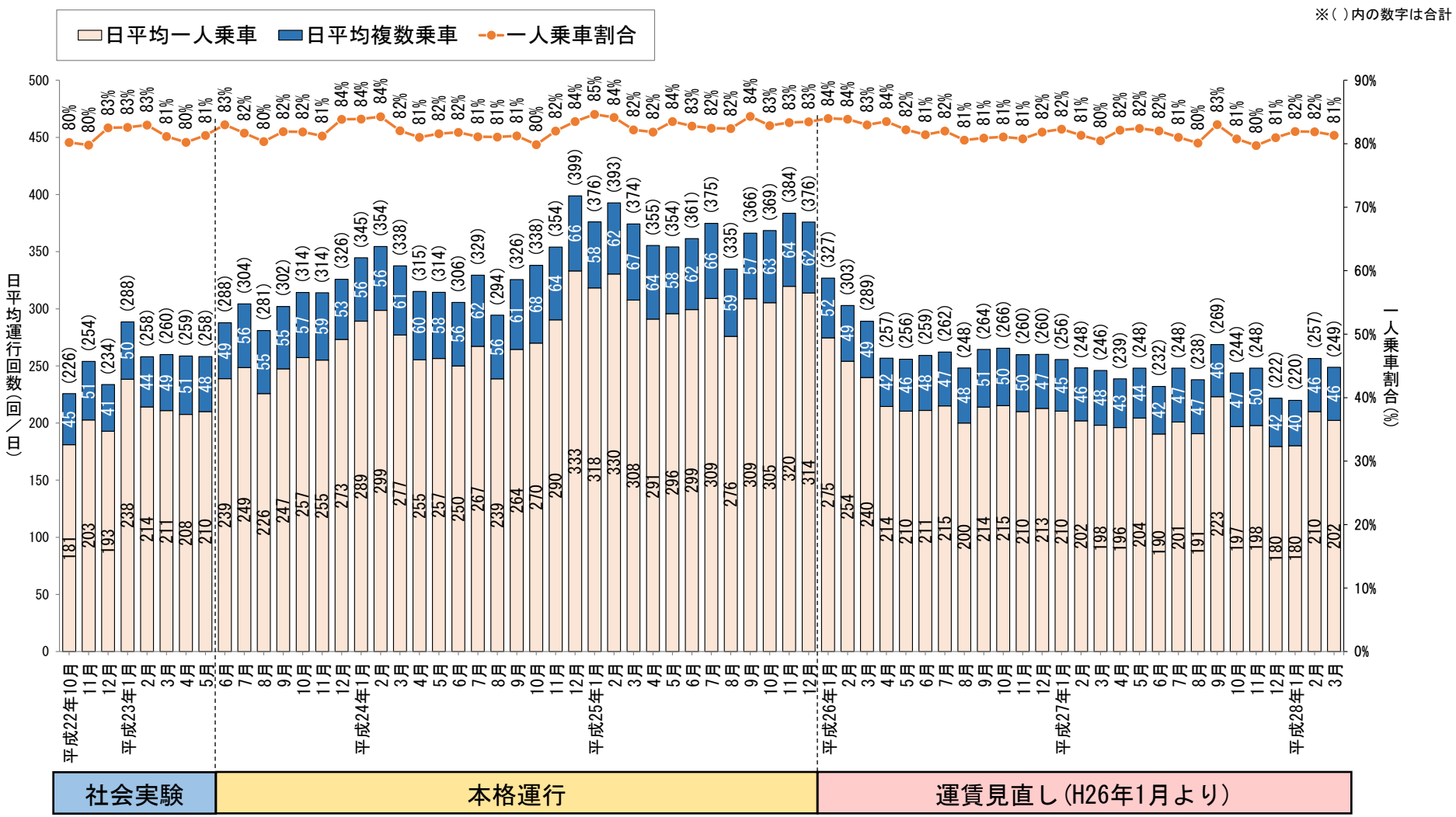
- 市街地内および周辺地区～市街地間の利用は、平成26年度から現在まで130～170人/日で推移している。
- 周辺地区間の利用は、平成26年度から現在まで19人/日で推移している。



1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

一人乗車の推移

●一人乗車割合は、80%程度で推移している。



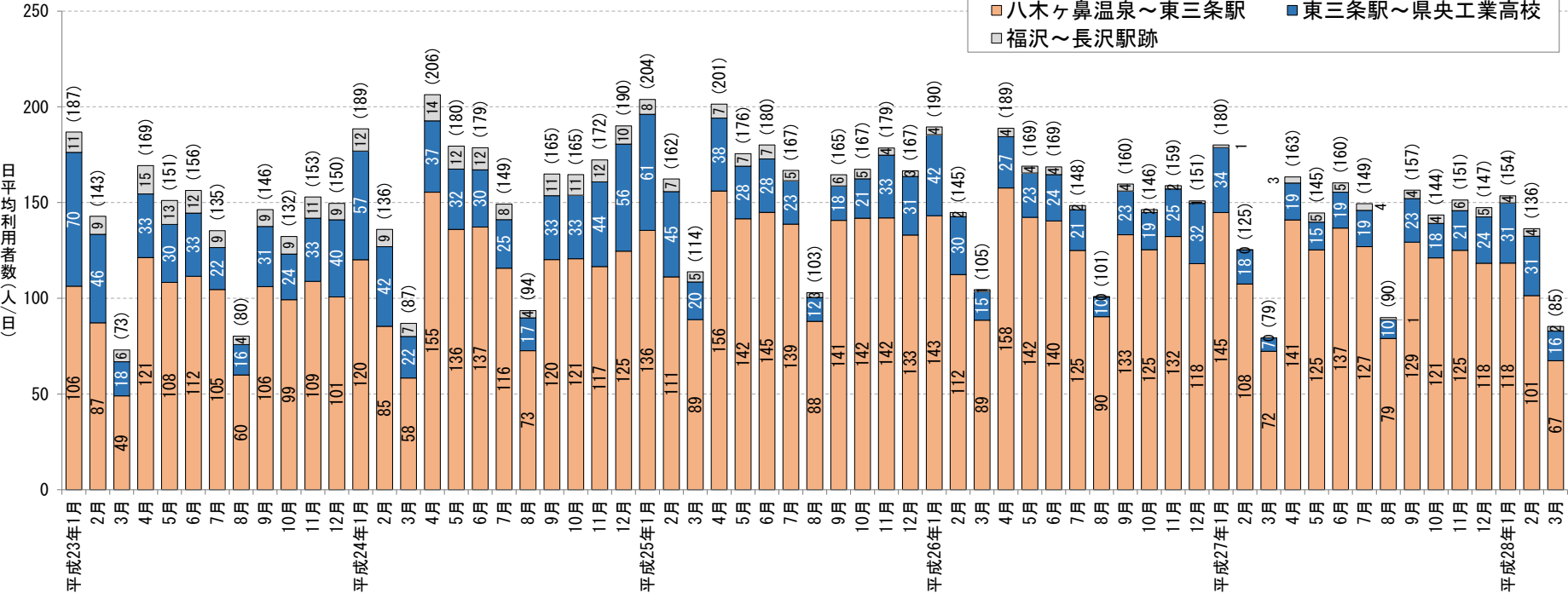
※合計値は端数処理の関係で一致しない場合がある ※ひめさゆり日報に基づき集計

2 高校生通学ライナーバス利用実績

利用者数の推移

● 八木ヶ鼻温泉～県央工業高校、東三条駅～県央工業高校の利用者数は減少傾向にある。

	八木ヶ鼻温泉～県央工業高校	東三条駅～県央工業高校 (補助対象路線) ※八木ヶ鼻温泉～県央工業 高校の内数	福沢～長沢駅跡 (補助対象路線)
平成23年4月～平成24年3月	134.8人/日	33.1人/日	9.7人/日
平成24年4月～平成25年3月	160.2人/日	37.2人/日	9.4人/日
平成25年4月～平成26年3月	162.1人/日	27.4人/日	4.6人/日
平成26年4月～平成27年3月	149.9人/日	22.8人/日	2.1人/日
平成27年4月～平成28年3月	140.0人/日	21.0人/日	3.9人/日



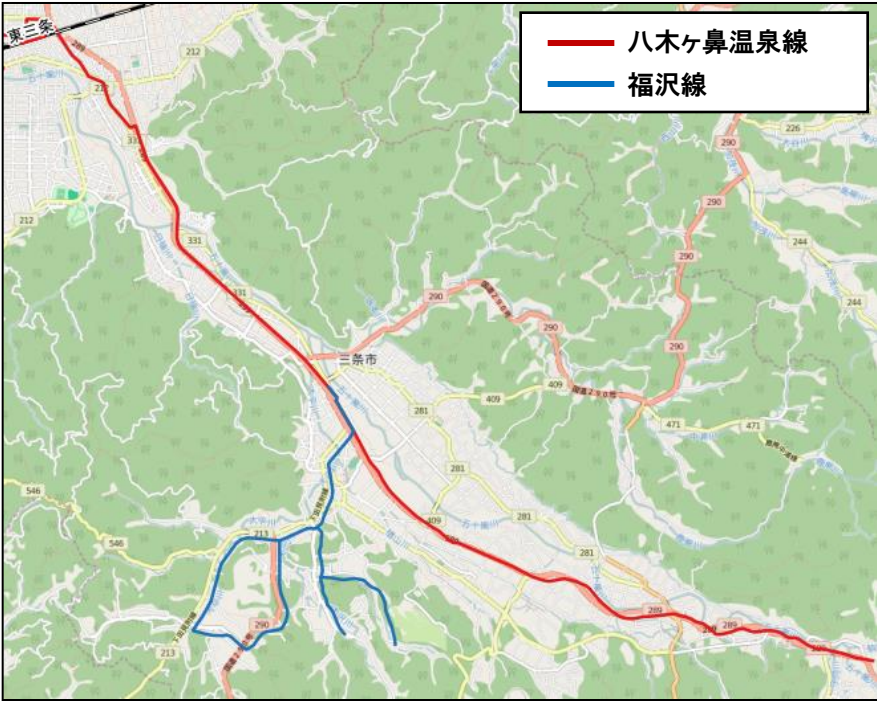
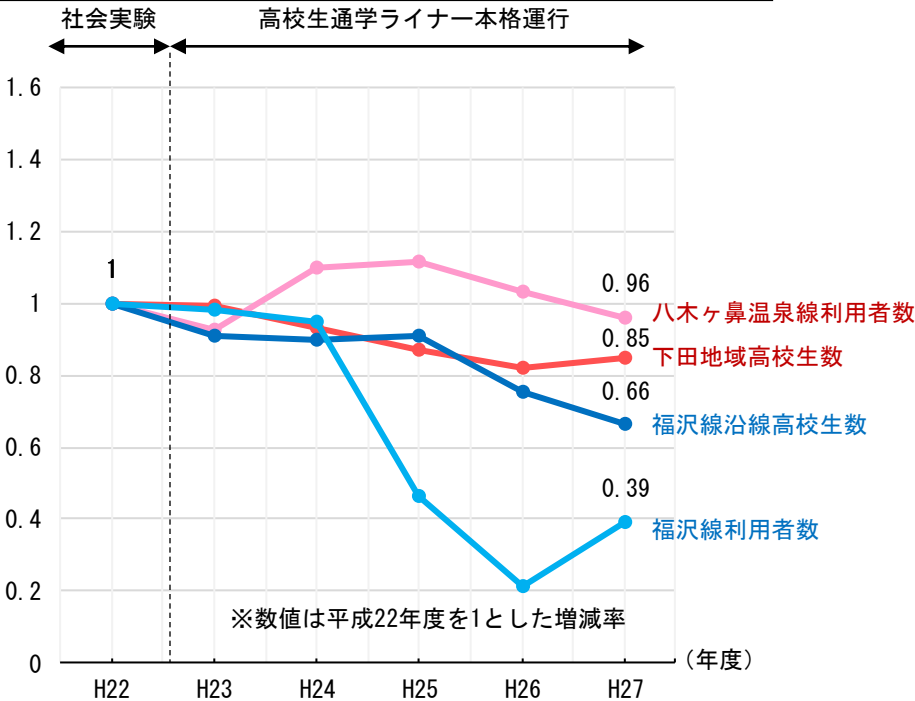
※高校生ライナー利用実績に基づき集計 ※合計値は端数処理の関係で一致しない場合がある

2 高校生通学ライナーバス利用実績

参考：高校生通学ライナー利用者数と高校生数の推移

- 八木ヶ鼻温泉線・福沢線とも、沿線の高校生数は減少傾向にある。特に、福沢線沿線の高校生数は八木ヶ鼻温泉線沿線に比べ、減少率大きい。
- 平成22年度比で八木ヶ鼻温泉線は利用者数が0.96倍と減少している。福沢線利用者数も0.39倍と減少しているが、昨年度に比べ、日あたり利用者数は増加した。

高校生通学ライナー利用者数と高校生数の増減率

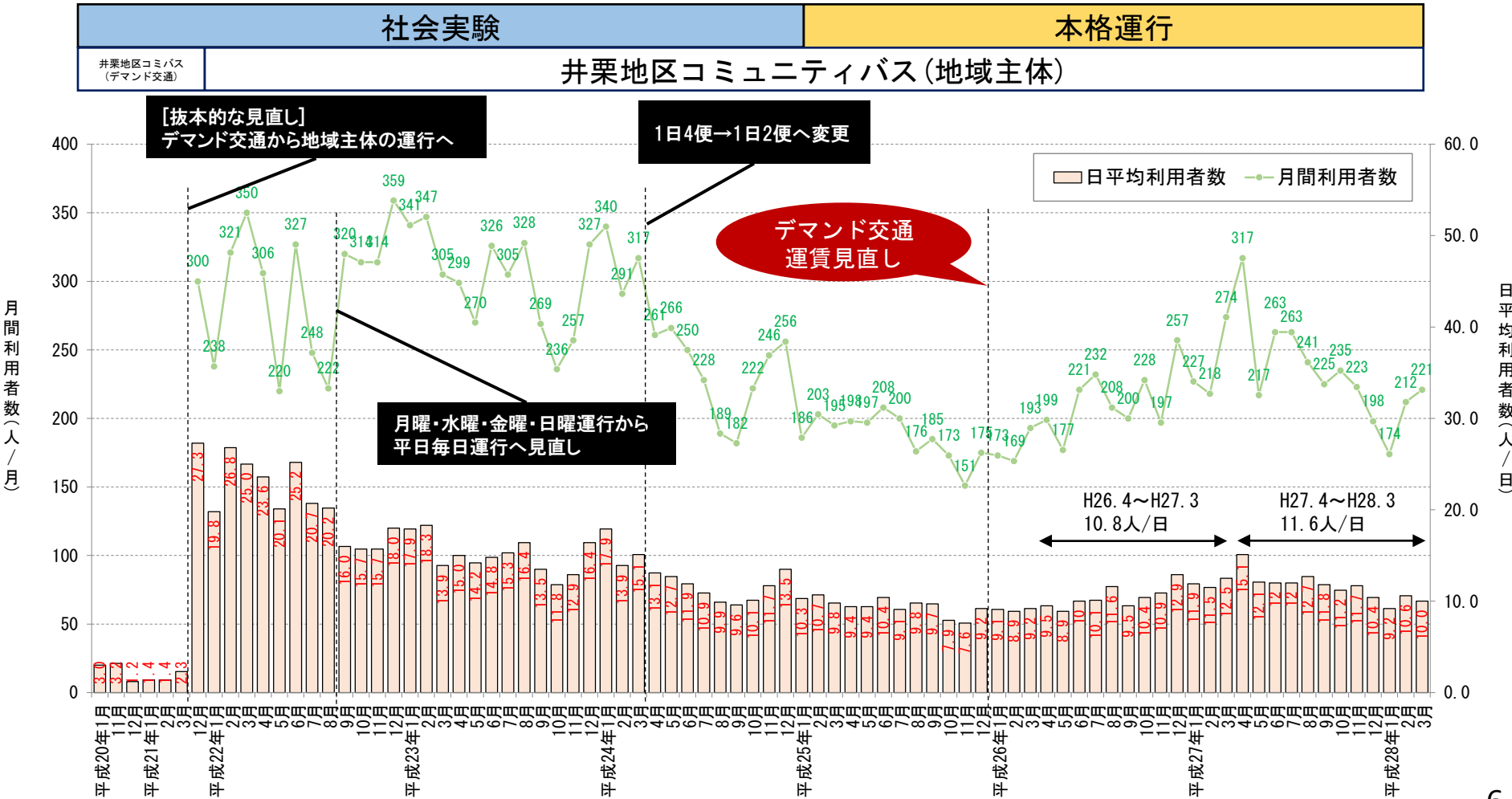


	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
下田地域高校生数	313	310	291	273	257	265
八木ヶ鼻温泉線利用者数(人/日)	145.5	134.8	160.2	162.1	149.9	140.0
福沢線沿線高校生数	77	70	69	70	58	51
福沢線利用者数(人/日)	9.9	9.7	9.4	4.6	2.1	3.9

3 井栗地区コミュニティバス利用実績

利用者数の推移

● 日平均利用者は約12人/日程度で前年同時期に比べ微増した。



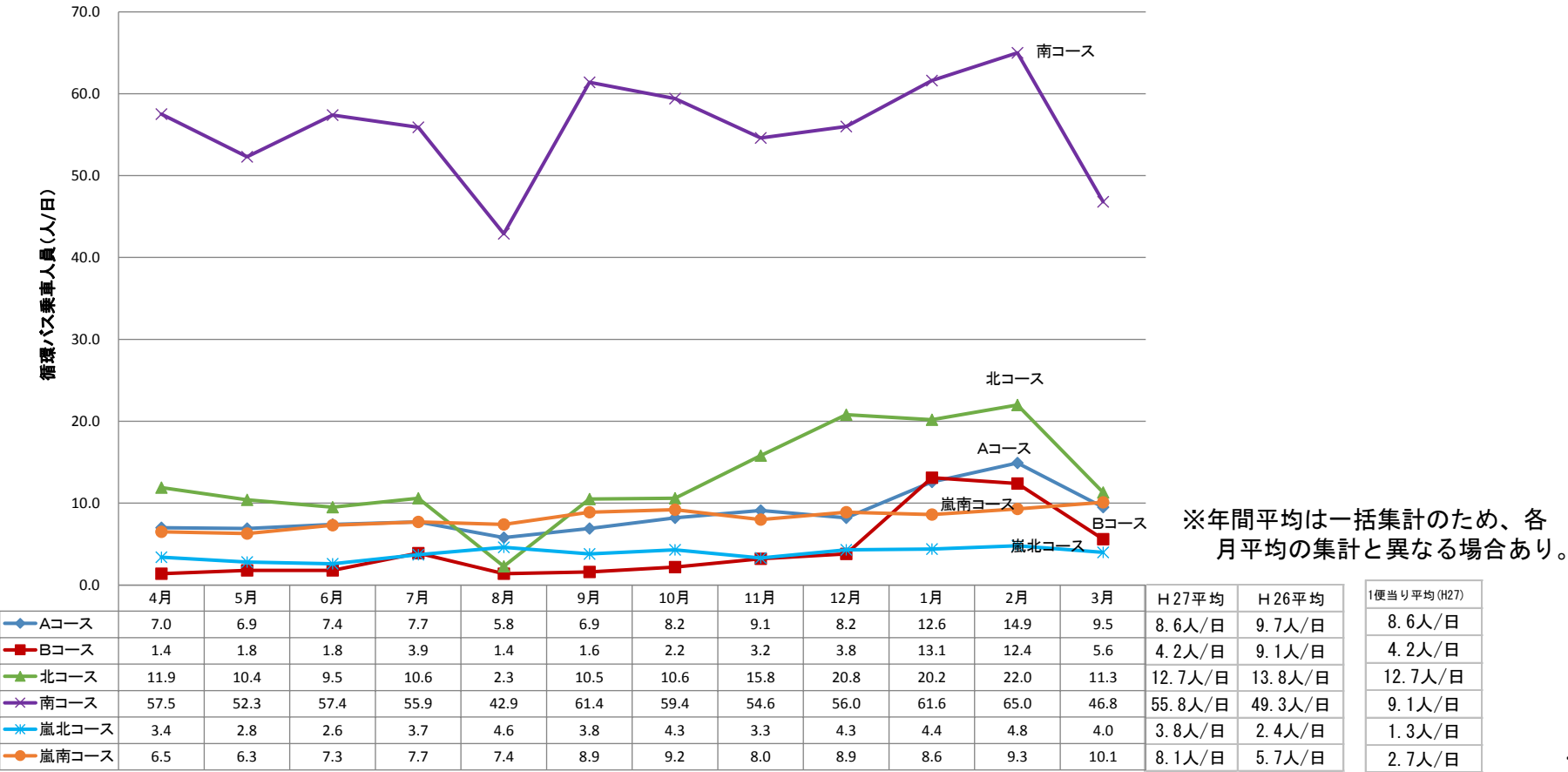
※井栗地区コミュニティバス利用実績に基づき集計

4 平成27年度循環バスぐるっとさん利用実績

H27年度利用者数の推移

● 昨年値と比較すると、南コース・嵐北コース・嵐南コースは増加、Aコース・Bコース・北コースは減少している。

※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計

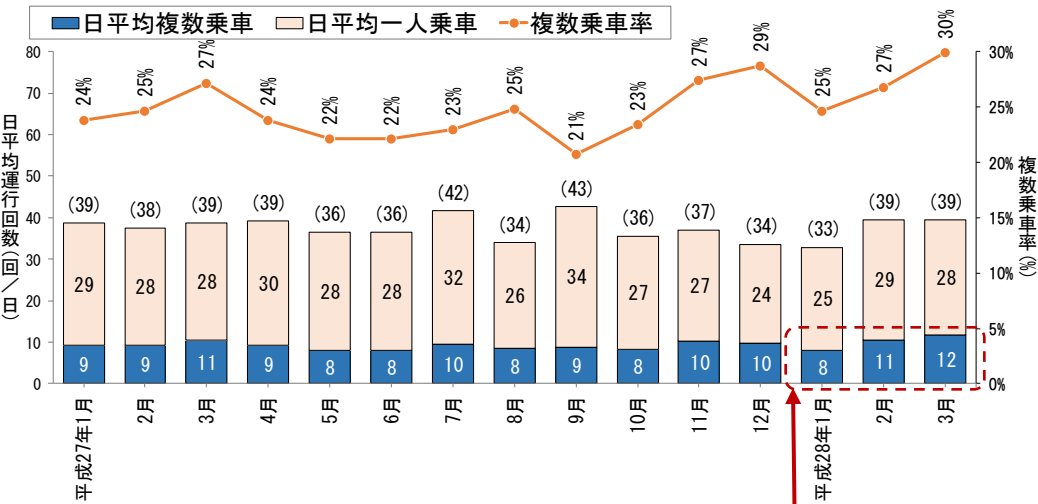


5 おでかけパス社会実験 途中経過

おでかけパス社会実験の効果検証(下田地区関係の複数乗車の推移)

- おでかけパスの利用実績は4. 6回/日と一定の利用があり、複数乗車率も増加している。
- 下田発・複数乗車の目的停留所別利用回数を見ると、上位停留所は医療施設が多く占めており、おでかけパス利用も多い傾向にある(おでかけパス発行枚数110枚(3月末現在)、協賛店10店)。

■下田地区関係の複数乗車率の推移



うち、おでかけパス利用
4. 6回/日
※H28年1月～3月

■下田発・複数乗車の目的停留所別利用回数(平成28年1月～3月)

※利用回数2回/月以上の停留所を表示
※赤字は医療施設の停留所

停留所名称	エリア	複数乗車利用回数/月	シェア	おでかけパス利用回数/月	(参考) 一人乗車利用回数/月
三条総合病院	市街地	11.0	9.4%	5.0	31.7
下田渡邊医院	下田エリア	10.0	8.6%	4.7	12.3
済生会病院	市街地	8.0	7.4%	5.0	21.0
川瀬神経内科クリニック	市街地	8.0	6.8%	4.7	6.0
燕三条駅	市街地	7.0	6.5%	0.0	12.3
富永草野クリニック	市街地	6.0	5.6%	3.7	12.0
大島病院	北エリア	5.0	4.7%	3.3	3.7
あまの整形外科	市街地	4.0	3.8%	3.7	1.3
三之町病院	市街地	4.0	3.2%	1.0	12.3
東三条駅	市街地	3.0	2.9%	0.3	3.0
大浜外科医院	市街地	3.0	2.7%	0.0	3.7
いい湯らてい	下田エリア	3.0	2.7%	0.3	4.3
内科・消化器科わたなべ医院	市街地	2.0	1.8%	2.0	0.0
...	...	...	...	...	...
計		113.0	100%	51.3	295.3

上位の停留所は医療施設が占める

5 (参考)おでかけパス社会実験について

総合計画のパイロット事業に掲げる「下田地域」と市街地等の停留所を発着場所として、デマンド交通の実験運行を行うもの。

【事業概要】

下田地域在住の65歳以上の方を対象に、デマンド交通を利用して中心市街地等へのおでかけ及び病院等への通院や下田地域内でのおでかけをする方に複数乗車時の運賃が割引となる「おでかけパス」を発行する

まちなか交流拠点施設



“極” 間移動者の負担軽減

(通院などの支援)

800円

パス
料金

500円

デマンド交通
おでかけパス

発行(1,000円)/年

高齢者の外出促進による健幸づくり

(まちなか交流拠点施設や市場などへのおでかけ支援)

協賛店

例えば...

デマンド交通
おでかけパス

提示

5%
OFF

地域経済の活性化

(おでかけパス提示による協賛店等での各種サービス)

【事業効果】

- ・ 外出機会の増加による健康寿命延伸
 - ・ 遠隔地住民の負担軽減
 - ・ 高齢者運転免許証自主返納への動機づけ
- ※道交法改正による75歳以上ドライバーの認知機能検査の強化
- ・ 複数乗車率の向上 (本来の公共交通の姿へ)